

平成26年度倫理委員会課題審査結果

【審査年月日】平成26年7月29日(火)

番号	課題名	代表者名	申請者	審査を希望する理由	判定
1	パーキンソン病患者の非運動症状に関する観察研究(J-FIRST)	服部信孝	病院長 武田 篤	治療介入なしの前向き観察研究にて患者の状態や治療内容の実態を調査する他施設との共同研究のため。	承認

【審査年月日】平成26年9月30日(火)

番号	課題名	代表者名	申請者	審査を希望する理由	判定
2	認知症性疾患の臨床症候の神経基盤と予後についての研究	馬場 徹	神経内科 医師 馬場 徹	認知症の臨床症候・認知機能・精神症状に関する知見の解明を目指して、①日常臨床で得られた認知症患者の臨床症状や放射線学的・生理学的検査所見のデータベース化、②臨床症状の詳細な解析のための新しい認知・行動評価指標の開発を行うため。	承認
3	パーキンソン病、レビー小体型認知症における早期診断・確定診断法の研究	大泉英樹	神経内科 医師 大泉英樹	腋窩に皮膚パンチバイオプシーを施行しリン酸化アルファシヌクレイン陽性の一致率を従来の臨床診断基準と比較検討し、パーキンソン病及びレビー小体型認知症の早期診断や確定診断の方法として有用性の検証を行うため。	承認

【審査年月日】平成26年10月20日(月)

番号	課題名	代表者名	申請者	審査を希望する理由	判定
4	パーキンソン病、レビー小体型認知症における早期診断・確定診断法の研究(一部修正)	大泉英樹	神経内科 医師 大泉英樹	診断精度を高める可能性があることから生検部位として後頭部を追加。	承認

【審査年月日】平成26年10月31日(金)

番号	課題名	代表者名	申請者	審査を希望する理由	判定
5	腰椎椎間板ヘルニア患者を対象としたコンドリナーゼ(S1-6603)の第Ⅱ／Ⅲ相試験(6603/1021)及び第Ⅲ相試験(6603/1031)終了後の予後調査に関する研究	古泉 豊	統括診療 部長 古泉 豊	治療薬投与後の腰椎手術実施の有無、腰椎の不安定性の有無、腰椎疾患による臨床症状及び機能障害を調査し、コンドリナーゼ投与患者の長期予後を評価するため。	承認
6	重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究(一部修正)	武田 篤	病院長 武田 篤	共同研究者の職名等の変更、研究者の変更等。	承認

【審査年月日】平成27年2月27日(金)

番号	課題名	代表者名	申請者	審査を希望する理由	判定
7	パーキンソン病患者の非運動症状に関する観察研究(J-FIRST)	服部信孝	病院長 武田 篤	統計解析ルートの変更等。	承認
8	腰椎椎間板ヘルニア患者を対象としたコンドリナーゼ(S1-6603)の第Ⅱ／Ⅲ相試験(6603/1021)及び第Ⅲ相試験(6603/1031)終了後の予後調査に関する研究(一部修正)	古泉 豊	統括診療 部長 古泉 豊	研究実施医療機関の変更等。	承認
9	遅発型ポンペ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究	高橋俊明	神経内科 医師 高橋俊明	筋力低下ないし高クレアチンキナーゼ(CK)血症を呈し診断未確定である1歳以上の筋疾患患者に潜在する遅発型ポンペ病患者の頻度を明らかにする。	承認
10	慢性型SRP抗体関連ミオパチーの頻度および臨床像の解明	高橋俊明	神経内科 医師 高橋俊明	慢性型SRP抗体関連ミオパチーの頻度および臨床像を明らかにする。	承認

【審査年月日】平成27年7月9日(木)

番号	課 題 名	代表者名	申請者	審査を希望する理由	判定
11	前額断MRIによる腰椎L5/S1椎間孔狭窄の診断(前向き研究) (一部修正)	古泉 豊	統括診療 部 長 古泉 豊	本研究は侵襲が非常に少ない観察的研究だが、ヒトの個人情報を扱う臨床研究である。このため、倫理規定に照らし合わせる必要があるため。	承認
12	骨粗鬆症性椎体骨折による神経障害の検討(多施設前向き研究)	両角 直樹	副院長 両角 直樹	他施設共同研究であり、当院での参加に問題がないか審査する必要があるため。	承認
13	肢帯型筋ジストロフィーの臨床病型と画像所見に関する研究	高橋 俊明	神経内科 医 長 高橋 俊明	匿名化されてはいるものの、患者情報を他施設に送付するため。	承認